

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	総合：命令を考えよう
学年	小学校第4学年
目標	簡単なプログラミングを体験することを通して、プログラミングについて理解し、進んでプログラミングに取り組むことができるようにする。
教材タイプ	ビジュアル言語・アンプラグド
使用教材	Scratch
環境	児童1人で1台の端末を使用
都道府県	徳島県
実施校	北島町立北島小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>【学習活動の概要】</p> <p>総合の時間にプログラミングを体験する活動を行った。まず、プログラミングとは何かということを紹介し、次に、児童をロボットに見立て、燃料を取りに行くための命令を出し、児童を動かす活動を行った。その後、ワークシートを使用して命令を考え、さらに、Scratchを使用して同じような内容のプログラミングを行った。</p> <p>【児童の様子】</p> <p>児童はこれまでに、プログラミングを全く体験したことがなく、プログラミングという言葉を知らない児童もいた。</p> <p>本時では、全体でプログラミングという言葉や命令の出し方を確認することで、ほとんどの児童が難しいと感じることなく取り組むことができた。また、友達の作った命令と比べることで、より簡単な方法はないかと考えることができた。全員が楽しみながらプログラミングを行い、達成感を味わうことができた。</p>
成果と課題	<p>全員がプログラミングを楽しむことができ、これからの活動につながる体験となった。今後は、より複雑な内容のものにも取り組ませたい。</p>

